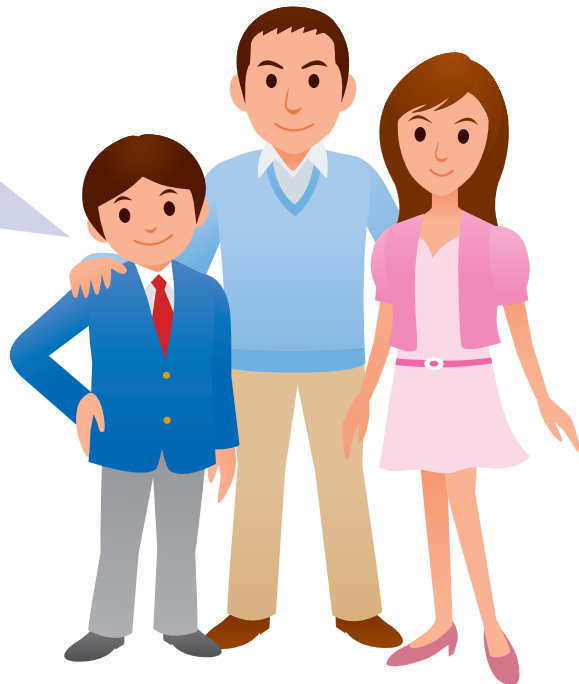


教えて！ にちぎん

「金融システムの安定」 ってなに？



日本銀行で広報を担当する父を持つ大学生の知子さんと中学生の^{まなぶ}学くん。日銀の二つの大きな使命「物価の安定」と「金融システムの安定」のうち、今回は、「金融システムの安定」についてお勉強です。日銀をよくご存じない方も、一緒に訪問した気分でお気軽にお読みいただければ幸いです。より詳しい内容は、HPの「教えて！ にちぎん」をぜひご覧ください。

<http://www.boj.or.jp/oshiete/index.htm>

「金融システム」ってなに？

知子、以前、日銀法第一条には、二つの日銀の目的が書かれているって教えたけど、覚えているかい？

「物価の安定」と「金融システムの安定」だよ。でもまだ「金融システムの安定」は教えてもらってないわ。そもそも「金融システム」ってなに？

一言で言えば、金融機関がお金を預けたい人と借りたい人の間の仲立ちをしたり、お金などのやりとりに関するサービスを提供したりする仕組み全体のことなんだ。もし、銀行がなかったら、学はどうする？

うーん、もらったお小遣いは銀行に預けられないから、とりあえず引き出しにしまっただけを置いておくかな。

どうせすぐに使っちゃうくせに。でも、大金をいつまでもタンスにしまっておくのは、心配よね。それに、銀行で振り込みができないから、自分で現金を持ち運ばなければならなくなるわ。そんなの危険だし、とても不便。

銀行は、みんなのお金を預かったり貸したりしてくれるほか、銀行同士が網の目のように結び付いて、その仕組みの中で、お金のやりとりができるようになってるんだ。例えば、給料が自分の口座に振り込まれたり、田舎のおばあちゃんに送金できたり、電気代や水道代が自動的に引き落とされたりするのもこの仕組みがあるからなんだ。

銀行やコンビニのCD（現金自動支払機）やATM（現金自動預払機）でお金がかかるものも金融システムの一部なんだね。

そつだよ。こうした仕組み、つまり「金融システム」は、みんなの日常の暮らしを根底で支える土台、言葉を換えれば、電気・水道・ガスと同一ような社会の重要なライフラインとも言えるんだ。

「金融システム」を

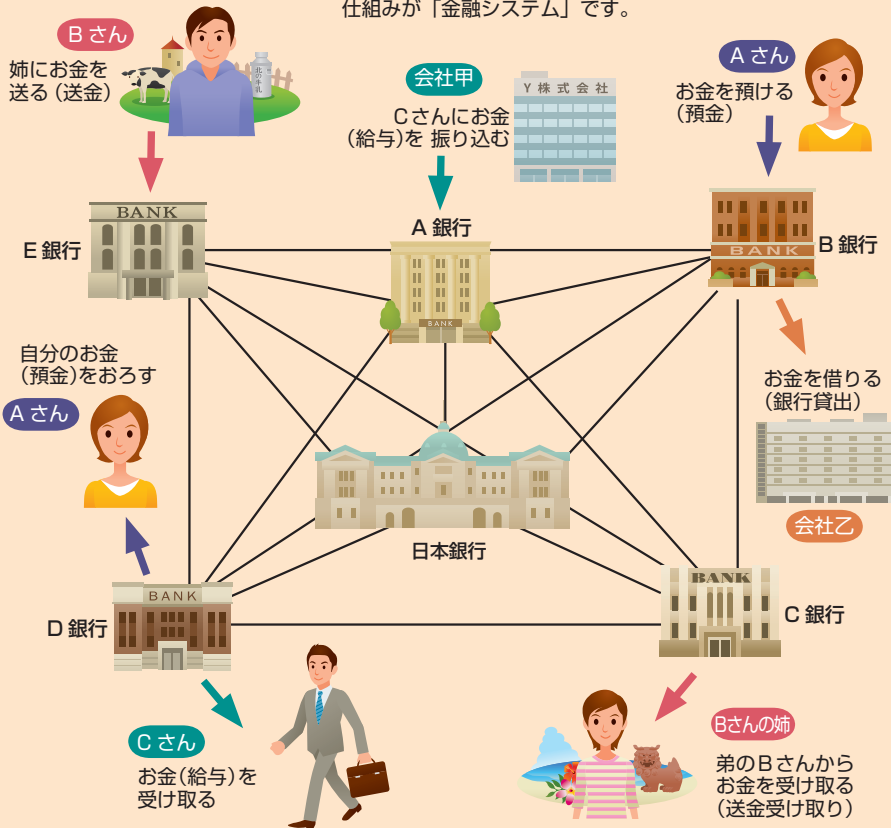
「安定」させるのが

日銀の仕事

その「金融システム」を「安定」させるのが、日銀の役目なんだね。

[金融システム]ってなに？

金融機関を中心とした網の目のようなネットワークを通じて、普段何気なく行っているお金のやりとりを可能にする仕組みが「金融システム」です。



そうなんだ。日銀はこのライフラインを支えるために、さまざまな仕事を行っているんだ。

まず、日銀は日銀ネットという

システムを使って、金融機関同士のいろいろな取引を、それぞれが日銀に持つ預金口座を通じて決済できるサービスを提供していて、

そうした決済システムを安全で効率的に運用できるように日々工夫や努力を重ねているんだよ。

日銀ネットって、前回、訪問した業務局で教えてもらったものね。

知子、よく覚えていたね。次に、金融システムの安定のた

めには、金融システムの屋台骨である一つの金融機関がちゃんと機能していることが欠かせない。だから、日銀は銀行など曰頃から頻繁に連絡を取り合ったり、直接出向いて、業務運営や経営の健全性を確認し、必要に応じて改善を促したりしているんだ。

まるで「銀行のお医者さん」みたいね。よく耳にする不良債権とかもチェックするわけね。

そのとおり。不良債権がどんどん増えていくと銀行自身が潰れてしまいかねないからね。貸したお金が返ってこないなど、金融機関の業務の遂行には多様なリスクが伴うので、そうしたリスクの管理体制や資本の充実度合いなどさまざまな面をチェックして、経営の健全性の維持・向上を促しているんだよ。

なるほど。ところで、「日銀特融」って言葉を聞いたことがあるけど、これも「金融システムの安定」に関係するの？

そのとおり。例えば金融機関を通じて、全国各地の個人・企業に振り込みができるのは、金融機関がネットワークで結ばれてい

るから。当然、その間にはさまざまな債権債務関係——お金の貸し借りの関係が生じている。仮に一部の金融機関が支払い不能に陥ると、こうした債権債務関係を通じて貸し倒れが連鎖していったら、金融システム全般への信頼が失われ、取り付け騒ぎが起きる可能性もある。これを、システムミック・リスクと言うのだけれど、そうした事態を避けるため、日銀が資金繰りに窮した金融機関に対して、一時的に資金を供給することがあるんだ。誰もその金融機関に資金を貸さなくなっているときに、金融システム全体を守るために資金を供給するので、「最後の貸し手」機能と呼ばれているんだ。「日銀特融」も「最後の貸し手」機能の一つなんだ。

金融システムの安定のためにいろいろな仕事をしているのね。

そうなんだ。このほかにも、日銀は国際的な金融システムの安定確保にも取り組んでいるんだよ。今回は、「金融システムの安定」に携わっている金融機構局の人を紹介するから、よく勉強しておいで。

知子さんと学くんの 日銀訪問



【金融機構局】

先日、お父さんから「金融システムの安定」について教えてもらった知子さんと学くん。今回は日本銀行本店の金融機構局の田中さんを訪問して話を聞くことにしました。

「金融システムの安定」は 日銀の重要なミッション

はじめまして。神田知子と申します。今日は、「金融システムの安定」について教えてください。こっちは弟の学です。よろしく願っています。

金融機構局の田中です。ようこそいらっしゃいました。

こんにちは。学です。「物価の安定」だけでなく、「金融システムの安定」も、日銀の重要な使命だと聞きました。金融機構局では、「金融システムの安定」に向けてどんな仕事をしているのですか？

日本銀行は、円滑な資金決済を確保することを通じて、金融システムの安定に貢献することを、その目的の一つとしています。この目的を達成するために、金融機構局では、日々の決済業務を担っている個々の金融機関の問題が、人々の不安心理やさまざまな取引関係を通じて他の金融機関へ波及し、金融システム全体が機能麻痺に陥ることがないよう、種々の施策を講じています。具体的に

は、「考査」や「オフサイト・モニタリング」を通じて、金融機関の業務運営や経営状態の確な把握に努め、その経営の健全性の維持・向上を促しています。さらに、万一問題が発生した場合には、「最後の貸し手」としての機能を発揮することもあります。このほか、金融のグローバル化に対応して、海外の中央銀行や銀行監督当局と協力しつつ、国際的な金融システムの安定確保にも取り組んでおり、「金融システムの安定」に向け、いろいろな面で日々努力しています。

「考査」ってなに？

「考査」って、たまに耳にする言葉なのですが、その内容はどんなものなのでしょう？

「考査」とは、日本銀行の当座預金取引先である金融機関の業務運営や経営の健全性を把握するために行う活動の一つで、金融機関に実際に立ち入って、その資産内容や各種のリスク管理の状況などを調査することです。特に、金融機関への立

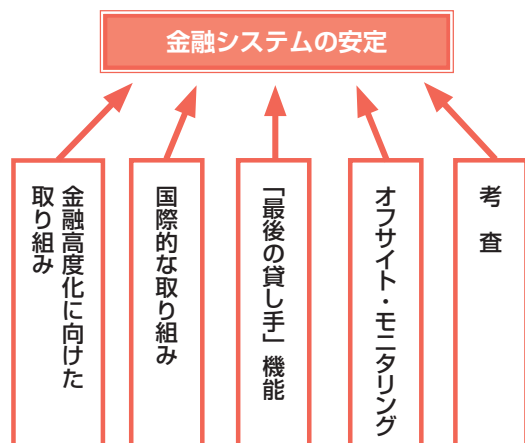
ち入りを行わない調査である「オフサイト・モニタリング」では把握しにくいリスク管理体制やその体制が実際にきちんと機能しているかといった点を、実地でチェックする点に意義があります。また、考査結果を基に、必要に応じ、当該取引先に対して業務の改善などの要請も行います。

「オフサイト・モニタリング」ってなに？

じゃあ、今度は「オフサイト・モニタリング」について教えてくださいませんか？

「オフサイト・モニタリング」は、「考査」と同様、金融機関の業務運営や経営の健全性を把握するために行う調査で、この両者は、それぞれの特性に応じて使い分けを図りつつ、一体的に運営しています。「オフサイト・モニタリング」では、金融機関には立ち入らずに、先方提出資料の分析や役職員へのヒアリングなどを通じて調査を行います。より具体的には、直近の考査結果も踏まえつつ、経営体

「金融システム」の安定の確保に向けた金融機構局の取り組み



力・収益力、資金繰り、貸出業務、有価証券投資などに関して金融機関が負っている多様なリスクの実態把握を行っているほか、それらのリスクをどのように把握・管理しているのかについても随時フォローしています。

このほか、金融機関の経営実態に関する情報を、ある程度マクロ的な形で集計し、これを分析することによって、金融システム全体の中でのようなリスクが内在しているか、そうしたリスクに対して中央銀行としてどのような対応を講じていくことができるかについても、検討を行っているんですよ。



金融高度化セミナーの様相

金融の高度化に向けた取り組み

よく分かりました。ところで、昨今、金融商品やサービスがどんどん多様化しています。こうした商品やサービスを取り入れる金融機関にとって、リスク管理が大変になってきているんじゃないですか？

そのとおりです。金融商品やサービスの多様化・複雑化がどんどん進んでいるので、金融機関におけるリスク管理や経営管理の方法は、常に改善・高度化していく必要があります。このため、日本銀行としても、

考査・モニタリングの機会のみならず、各種セミナーの開催や論文の発表などを通じて、金融高度化に向けた金融機関の取り組みを幅広く後押しするべく日々頑張っているんですよ。

国際的な取り組み

最近では、国際的な金融システム問題がクローズアップされていますが、これに対してはどんな取り組みをされているのですか？

日本銀行は、外国の中央銀行や国際機関と協力し、国際金融危機の発生や拡大を防止するための国際的なルール作りに関与しています。また、危機に陥った国の中央銀行に緊急的な流動性支援を行ったこともあるなど、国際的な「金融システムの安定」の確保に向けしっかり頑張っています。

「最後の貸し手」機能ってなに？

先ほど、「最後の貸し手」

機能のお話がありました。困ったときには日銀がお金を貸してくれるんですか？

もちろん無条件にお金を貸すわけではありません。「最後の貸し手」機能とは、個別の金融機関の支払い不能が決済システム全体や金融システムに波及するというシステムミック・リスクの顕在化を回避するために、中央銀行が資金の貸し付けなどを行うことです。「日銀特融」のように必ずしも担保を取らずに融資するものについては、政府からの実施要請を受けることが前提となりますが、日本銀行としては、必要不可欠であること、関係者の責任の明確化、日本銀行自身の財務の健全性といった観点から実施の可否を慎重に判断しています。

金融システムの安定のために、日銀は日々いろいろな方法を駆使して頑張っていることがよく分かりました。今日はどうもありがとうございました。

こちらこそありがとうございました。